学校番号	T3016

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	機械のしくみ実習	単位数	２単位	年次	３・４年次
使用教科書	自作実習ノート						
副教材等	自作実習プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

機械のしくみ実習は、安全作業について配慮をしつつ、原動機の分解組立の共同作業や板金作業による作品づくりなどを行い、工具・工作機械の名称、使用方法、機械の構造や作動や、作品づくりを通して、ものづくりの基本である手仕上げを学習します。
実習場で作業を行うので、怪我に注意しながら集中して作業しましょう。

2　学習の到達目標

安全作業の知識、工具・工作機械の名称や使用方法など基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。原動機の分解組立を行い機械の構造・作動について学習し習得させる。
板金作業による作品づくりにより、ものづくりの一連の過程を体験し、基本的な手仕上げと工作機械の使用方法を理解し習得させる。
工業教育を通してものづくりセンスを身につけ実践的な態度を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	工具・工作機械の名称や使用法について理解し習得している。 原動機の構造・作動について知識を習得している。 板金作業の手順・作業方法を理解し習得している。	工具・工作機械を安全に配慮しながら、使用することができる。 原動機の分解組立において、規準作業を考慮し効率的な作業ができる。 安全な作業を心掛けながら板金作業ができる。	工具・工作機械を安全かつ確実に使用することができる。 原動機の分解組立において、確実に作業が出来るよう意欲的に取り組んでいる。 板金作業について規定の品物が出来るように意欲的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期(後期)　原動機分解組付	安全教育	工業において大切な安全作業について学習する。服装や工具・工作機械を使用する際の注意事項について学ぶ。	a:作業時の服装や工具・工作機械を使用する際の注意事項について理解している。 b:事故の実例を参照し安全作業について考え安全な実習作業について考える。	ワークシート	ワークシート	
	工具について	工具の名称や使用方法について学ぶ。	a: 工具の名称や使用方法について理解している。	ワークシート		
	原動機分解組立	原動機を分解して、実際の部品を確認しながら構造・作動について学ぶ。あわせて、工具の使用方法について学ぶ。	a: 工具の名称や使用方法について実際の作業の中で確認し理解している。 原動機の構造・作動について理解している。 b: 原動機の分解組立の安全かつ確実な共同作業について考察することができる。 c: 原動機の分解組立の安全かつ確実な共同作業について意欲的に取り組んでいる。	実習作業 ワークシート	実習作業 観察	実習作業 観察
後期(前期)　板金作業	工作機械・工具について	作業に使用する工作機械、工具について学ぶ。	a:工作機械の名称・使用方法について理解している。	実習作業 ワークシート		
	板金作業	一枚の鉄板から、作品の型を切り出し、折り曲げて作品をつくる過程について学ぶ。	a:切り出し作業、曲げ作業の方法について理解している。 b: 切り出し作業、曲げ作業の安全かつ効率的な方法について考察することができる。 c: 切り出し作業、曲げ作業に意欲的に取り組んでいる。	ワークシート	実習作業 観察	実習作業 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※　生徒の人数によっては 2 班体制とし前期・後期でローテーションを行う。